

■-----■
KRA不定期通信／コマツ・リサーチ・アンド・アドバイザリー（代表：小松 啓一郎）
■-----■

『KRA 不定期通信』新年号アンケート

(http://komatsuresearch.powweb.com/wordpress/wp-content/uploads/2017/06/KRAnewsletter_no5.pdf)にご回答いただきました皆さま、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

『KRA 不定期通信』第6号では、読者の皆様から寄せられたオピニオンのいくつかを紹介させていただきます。

引き続き、ご意見・ご質問などありましたら、どしどし事務局(news@komatsuresearch.com)までお寄せ下さい。お寄せ頂いた内容は、お差し支えない範囲で本ニューズレターやKRAホームページ上でも適宜紹介させていただきます。

面白い情報や、忌憚ないご意見等、大歓迎！！

尚、『KRA 不定期通信』のバックナンバーはKRAのホームページからご覧いただけます(<http://komatsuresearch.powweb.com/wordpress/ja/>)。

〈今号のメニュー〉

【1】 入江 一友 様

【2】 木島 綱雄 様

【3】 事務局からのお知らせ

【1】 入江 一友 様

2012年中に、円高(対ドル、対ユーロ)と原油高は最高どこまで進むと思いますか。それとも円安回帰？

1ドル=150円(参考:1月4日現在76.7円)

1ユーロ=200円(参考:1月4日現在99.1円)

1バレル=150ドル(参考:1月4日現在WTI先物2月限103.2ドル)

(コメント)

日本の財政赤字が極めて巨額になっており、国内貯蓄でファイナンスできているから円への信認が続いているものの、国内貯蓄は景気低迷や高齢化とともに減少していきますから、日本国政府が財政再建の方針を確立できないと見極められた瞬間に、大きく円安に振れる可能性があります。

野田政権が消費税増税に必死であることは正しい選択だと思いますが、民主党内の反対が強く、反主流派を中心に造反議員が続出する可能性があります。しかも野田政権自身、(反主流派への妥協もありますが)震災復興に予算を集中せず、新幹線等の予算を膨らませており、財政再建路線は未だ確立されていません。

他方、最大野党自民党は政局作りに懸命で、自らの公約でもあった消費税引き上げに協力する姿勢を見せません。このままでは今年中に野田政権が行き詰まる可能性が高く、財政再建路線が棚上げされる危険性も高いと考えられます。

その頃にはユーロの行く末も見通せるようになり、また北朝鮮やイランなどでの緊張が高まると国際為替市場は自然とドル買いに動くと思込めます。そうなればユーロに代わって円が売り浴びせられる事態がいつ起きてもおかしくないと思われれます。

石油価格については、「アラブの春」がどこまで波及するか、イラン制裁がどこまで貫徹するかにもよりますが、新興国の経済成長が続かぎり需要の基調は堅調でしょうから、かなり上がるとみるべきでしょう。

問題は日本が円安になっても、海外に出てしまった日本企業はサンクコスト(埋没費用)がありますからおいそれと帰ってくるわけではなく、むしろ石油を初めとする輸入価格が上昇して日本経済に打撃を与える危険性のほうが高いことです。輸入インフレになって国債の利回りを上げなければならなくなると財政再建はますます難しくなり、さらに円安になる悪循環も考えられます。

『KRA 不定期通信・年末号』の中で、小松啓一郎は以下の危機(もしくは危機の予兆)の存在を指摘しました

http://komatsuresearch.powweb.com/wordpress/wp-content/uploads/2017/06/KRA-opinion_Turbulent-2011.pdf。もちろんこれらは相互に密接に繋がっていますが、何か一つの問題に最優先で取り組むと他の問題の解決にも繋がりとすれば、どの問題が最優先課題だと思われれますか。

・反格差運動

(コメント)

「先進国の財政赤字」「増税」「反格差運動」の3項目に絞った上で、どれを最後に選ぶのか悩んだのですが、「反格差運動」を残すことにしました。これらは一連の問題であり、増税が必要とされる理由は先進国の財政赤字にあり、その財政赤字は国民、特に低所得者層への給付拡大・維持に原因があるため、そもそも反格差運動に象徴される低所得者層の不満に対処する必要があると考えられるためです。

通貨危機にせよ、国家間関係の緊張にせよ、結局は地域的な問題と想われますが、反格差運動に象徴される低所得者層の不満は、今やほぼ全世界を覆った資本主義体制の根幹を揺るがすものとして世界的規模を持つと思ひます。

現実の政治体制として社会主義が存立していた間は、資本主義体制にも自制が働いていたと思ひますが、社会主義国家がほぼ壊滅してしまった現在、市場万能の市場原理主義が幅を利かせて、所得分配を不平等と感じ、将来への希望も失って、低所得者層の不満が蓄積しています。現在の経済体制が公正なものか疑問が強まると、社会の統合も難しくなると思ひます。

問題は現在の資本主義を支配している金融をどう統御するかだと思ひます。19世紀後半から20世紀初頭の古典的な金融資本主義と異なり、20世紀末以降の現代的な金融資本主義では生産ではなく投機が富を生んでいます。投機による富の分配不平等が低所得者層の不満の根底にあると思ひます。スーザン・ストレンジの『カジノ資本主義』を読まなければならないかと思ひますが、金融マンであった小松様のご知見を伺いたいところです。

【2】 木島 綱雄 様

<アンケートへのコメント>

世界が激変していく中ですが、米国が徐々に回復してくれると世界経済は救われるのではないのでしょうか。

中国が胡錦濤から習近平に移行しますが政治経済は引き続き安定しており大きな変化はないと思ひますし、米国はオバマ大統領の再選、ロシアはプーチン大統領の再登場となりそれなりに世界の秩序は継続されるように予想します。ますますアジアの時代になるように思ひます。

日本では選挙が避けられないと思ひますが、選挙をしても民主党が善戦するのではないのでしょうか。問題は欧州ですね。欧州の没落はさらに続く様に思ひますので、この負の要因がどの程度で収まるかが一番大きな心配です。

2012年中に、円高(対ドル、対ユーロ)と原油高は最高どこまで進むと思ひますか。それとも円安回帰？

1ドル=85 円(参考:1月4日現在 76.7 円)

1ユーロ=79 円(参考:1月4日現在 99.1 円)

1バレル=125 ドル(参考:1月4日現在 WTI 先物 2月限 103.2ドル)

御社・御機関の円高・原油高対策を教えてください。事業の海外移転が不可避の選択肢でしょうか。他にウルトラCの打開策は？

特別な対策はなく、円高環境を利用した海外への投資が進んでいます。一方で大切であることは事業の見直しであり、単純に海外に移転することではないと思ひます。日本で高いのは人件費と電気代などですので、海外から円高で安くなった原料を輸入し、高品位な製品を作る仕事はまだまだやりようによって十

分な競争力があると思います。農産物などはコストでは国産品が輸入品に勝つことは難しいですが、それでも品質に重点をおいて差別化をすれば十分競争できるのではないのでしょうか。

『KRA 不定期通信・年末号』の中で、小松啓一郎は以下の危機(もしくは危機の予兆)の存在を指摘しました。もちろんこれらは相互に密接に繋がっていますが、何か一つの問題に最優先で取り組むと他の問題の解決にも繋がりとすれば、どの問題が最優先課題だと思われませんか。

・ユーロ危機

(コメント)

危機としてはユーロ問題が大きいと思いますが、今年のポジティブな課題はどんなものがあるでしょうか？世界がマイナス思考になるなか、ポジティブな課題を整理することも大切かと思います。中国アジア経済の台頭や世界での人口拡大すなわちマーケットの拡大などはポジティブです。富裕層の子供が増えることを狙ったビジネスが盛んになると思いますし、新しい世代を対象にネットビジネスも大きく拡大するでしょう。アラブの春も民主化の拡大であり、良い話ではないのでしょうか？

【3】事務局からのお知らせ

本メールの全文の転送については、許可不要です。

『KRA 不定期通信』のバックナンバーはこちら：<http://komatsuresearch.powweb.com/wordpress/ja/kratoday>

ご意見・お問い合わせ：news@komatsuresearch.com

調査・講演関係のお問い合わせ：info@komatsuresearch.com

配信解除：当メールへの返信でご連絡下さい。

-
- 本メールおよびリンク先のホームページに掲載した内容については可能な限り正確を期していますが、万が一誤謬があった場合、コマツ・リサーチ・アンド・アドバイザー（以下 KRA）は一切の責任を負いません。
 - 本メールおよびリンク先のホームページに掲載した内容は、各執筆者の見解に基づき作成されたものであり、KRA の統一的な見解を示すものではありません。情報や見解は、予告なしに変更することがあります。
 - リンクしている第三者のサイトのコンテンツに関しては、KRA はいかなる責任も負いません。
 - 本メールおよびリンク先のレポートの内容を利用したことで発生したトラブルや損害についても、KRA は一切責任を負いませんのでご了承下さい。